

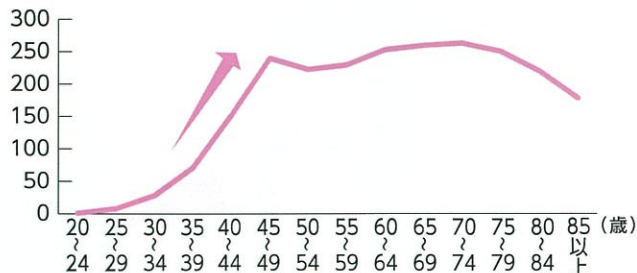


ご存じですか？ 乳がん治療と乳房再建術

乳がんは早期発見により「治す病気」です

●乳がんの年齢階級別罹患率

(単位:人口10万対)



●乳がんの病期(ステージ)ごとの5年ネット・サバイバル*

I 期	II 期	III 期	IV 期
98.9%	94.6%	80.6%	39.8%

乳がんは30代後半から罹患率が急増し、年齢とともにかかる確率が高まっています。

女性の約9人に1人(10.6%)が、生涯のうちに乳がんにかかるリスクがありますが、早期発見により「治す病気」になりつつあります。

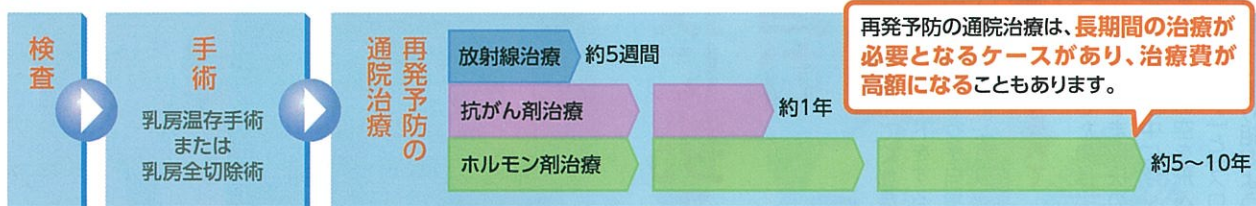
*ネット・サバイバルとは、「がんのみが死因となる状況」を仮定して計算する純生存率のことをいいます。

出 国立がん研究がんセンターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)「院内がん登録生存率集計」5年ネット・サバイバル(純生存率)2014年～2015年診断症例

乳がんの治療期間

●乳がん治療の一例

※下記は乳がん治療の一例を示したものです。実際の治療は、個々の患者の病期や患者本人の状態・希望などによって異なります。



乳房再建術と、きれいな乳房を取り戻すために知っておきたいこと

乳房再建とは、乳房切除術後に自家組織(自分のおなかや背中などから採取した組織)や人工物を用いて、新たに乳房をつくることです。乳がんの手術と同時に一次再建と、数カ月から数年後に行う二次再建とがあります。

自家組織による乳房再建

体の一部の組織を胸に移植する方法で、おなかの組織を移植する方法と、背中の中核を移植する方法の2つがあります。



人工乳房(インプラント)による乳房再建

皮膚を伸ばす袋(エキスパンダー)を胸の筋肉の下に入れ、その袋に生理食塩水を徐々に注入して乳房の形にふくらませます。その後、エキスパンダーを人工乳房(インプラント)に入れ替える方法です。



きれいな乳房を取り戻すには



乳房再建術の中には保険適用外となるケースもあります。より良い乳房再建を希望される場合には、乳腺外科医と形成外科医の連携が取れている施設で、乳房再建の経験が多い形成外科医に執刀してもらうことが重要です。

乳房再建はいずれの術式も利点・欠点があります。患者自身が目標を持って医師と相談することが大切です。乳房の再建方法を知っておくことで、乳がんの治療状況や元の乳房の状態にかかわらず、希望に近い乳房を取り戻すための選択肢が広がります。



制作・監修:(株)セールス手帖社保険FPS研究所

2025年6月現在の医療関係情報をもとに、目安として掲載しております。
そのため、将来、内容が変更となる場合があります。

SOMPOひまわり生命保険株式会社

<公式ウェブサイト> <https://www.himawari-life.co.jp/>

SOMPOグループの一員です。

●詳細につきましては、下記担当者までお気軽にお問い合わせください。

株式会社 三鱗

〒104-0031

東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン8階

TEL:03-3275-6330 FAX03-3275-6331